

# 令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業に採択

岡山大学×岡山県立大学  
晴れの国における国立大学×県立大学の共振による  
地域イノベーションの創出  
～デザイン×デジタルの融合によるSociety 5.0時代に向けた  
大学間連携と学生起点の未来共創活動～



国立大学法人岡山大学  
学長  
那須 保友

公立大学法人岡山県立大学  
理事長・学長  
沖 陽子



# 内閣府 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業の概要

## 事業概要

### ○ 目的

地域の中核となる大学が、独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた地域行政や産業界からの投資誘発を通じて、大学の財源多様化を進める。

### ○ 支援対象

社会実装を担う官庁(文部科学省や同省所管の独立行政法人を除く)、もしくは自治体(都道府県、指定都市)による事業に参画している国公私立大学とする。詳細は公募要領を確認すること。

支援を希望する大学から提出された、地域連携の実績や、今後の計画等に関する構想に関し、書類審査(一次審査)とヒアリング審査(二次審査)の2段階審査を経て支援対象を決定する。

### ○ 総合振興パッケージ等との連動

「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(令和4年2月1日総合科学技術会議・イノベーション会議決定、令和5年2月8日改定、令和6年2月20日改定)」に掲載されている、事業マップの社会実装を担う官庁の事業から支援を受けている大学、地域を中心とした産学官の連携体制に参画メンバーの一員として位置づけられている大学、もしくは、自治体の自主財源事業の申請主体の一員として、支援を受けている大学については、一次審査において加点する。それぞれ対象となる事業については、公募要領の別紙1～3を確認すること。

### ○ 支援内容

採択された大学には原則2年間、交付金を配分。実績や予算状況等に応じて3年目の延長もあり得る。

目安としては1大学1億円程度/年度、10大学程度に対して支援を行う。詳細は公募要領を確認すること。

本事業の支援を通じて、エコシステムを確立し、各大学の強みや特色を活かした持続可能なイノベーション創出環境を実現するためにどのように効果的に使用されたかは事後に報告を求める。

# 事業構想

## 【岡山大学の特色】

- 高い研究開発力により社会実装が期待される多くの成果を蓄積している。
- 地域の中核大学として地元企業や自治体との距離の近さを活かした日常的・継続的な連携実績を強みとしている。
- 分野横断DXの推進（「おかやまDXコア」の形成）により、岡大データサイエンス部（部員数150人超）をはじめとした**学生起点の企業・自治体とのイノベーション創出活動が活発化。**

## 【取組概要】

- **「大学間連携による総合知活用の仕組み」と「学生起点のイノベーション創出基盤」**の整備により、地域にとっての「イノベーションの源泉」と「シンクタンク機能」を確立して、多様な外部資金を呼び込み、4つの目指す姿を実現する。

地域の構成員（自治体・企業・地域住民）が大学のリソースを活用して地域イノベーションを創出する社会

目指す姿

ソーシャル・インパクトスタートアップの創出・育成と地域への波及

大学のデジタル技術社会実装機能の強化

総合知を活用した地域社会システム構築

地域ぐるみでの高度人材育成

取組内容

岡山大学と岡山県立大学「強み」を生かしたHubの設置

- 地域課題解決に向け学生が自由な発想でモノづくり、コトづくりができる環境（テックガレージ）を整備
- 自治体、企業、地域住民等のステークホルダーと共に様々な課題について解決策を考えるためのリビングラボを整備。
- Hubを核に人材が交流

デジタル×デザインの融合によるイノベティブな取組の加速

- 岡山大学が有するAI・デジタル・サイバーセキュリティ技術を基盤として、岡山県立大学が有するデザイン、人文社会科学の視点を加えた文理融合のデジタル技術社会実装機能を確立。
- 変革が求められている地域、企業の課題解決のためにデジタル技術を用いた学生起点のプロジェクトを創出。

大学間連携による総合知を活用したシンクタンク機能の強化

- 岡山大学と岡山県立大学を核として地域未来創造型イノベーション拠点を構築し、地域連携・まちづくりのプロフェッショナル人材を配置し、地域特性に応じた理想的な社会システムの検討体制を構築。
- 大学間連携による総合知の活用による地域にとっての身近なシンクタンク化。

地域ぐるみでのアントレプレナーシップ人材、高度人材の育成

- デジタルイノベーションプロジェクトを通じて高専生、高校生・中学生の「学び」を変革。
- 拠点活動を通じたトランスファラブルスキルの習得、イノベーション人材である高度博士人材の育成。
- 同窓コミュニティ形成による社会関係資本の蓄積と高度人材の地域内循環育成システムを構築。

課題

地域で持続的に課題を解決するイノベーション人材が不足

デジタル技術を活用した課題解決プロジェクト創出のための仕組み作り

地域課題の複雑化・大学間連携での総合知体制の整備

実践的人材育成システムの欠如

## 【戦略】

- 岡山大学と岡山県立大学を核として、地方創生人材育成プロジェクト「吉備の杜」（代表 岡山県立大学）参画大学である中国学園大学、ノートルダム清心女子大学の協力のもと、各大学でこれまで培った社会連携活動のノウハウやネットワークを持ち寄り、学生の社会貢献活動を相互に融合させながら地域の未来をデザインするための共振拠点を構築する。
- 大学生や若手研究者の拠点活動への参画により、複数の専門分野を融合させて活躍できる高度人材を育成する。高専、高校、中学校と大学をオンライン・オフラインで接続することにより3プロジェクトベースの活動を促進し、地域ぐるみでアントレプレナーシップ人材育成、STEAM人材育成を促進する。

# 本事業とJ-PEAKSとの関係

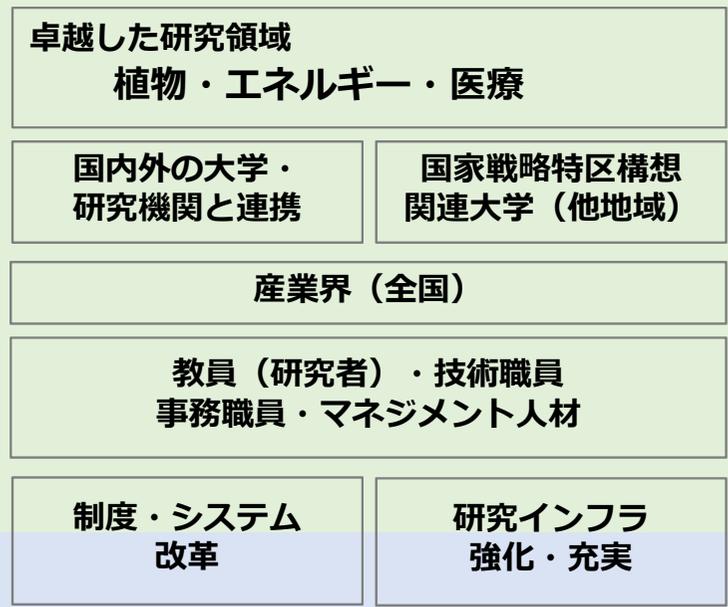
「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」で定義される機能

- ① **強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能**
- ② **地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能**

- ③ **地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、研究力を活かして地域課題解決をリードする機能**

## 文部科学省 地域中核・特色ある研究大学 強化促進事業(J-PEAKS)

・大学の卓越研究から地球規模の課題解決と社会変革に向けた新技術の開発



## 文部科学省 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金

・研究力の向上とイノベーション創出を支える制度改革と研究インフラの強化充実（価値創造ナレッジマネジメントオフィスとイノベーションエコシステムの構築）



## （本事業） 地域中核大学イノベーション 創出環境強化事業



## 共創ラボの設置 （建物新設）

・企業やアカデミア・学生が集い共創しながら研究を進める場を学内に構築

文部科学省  
地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業

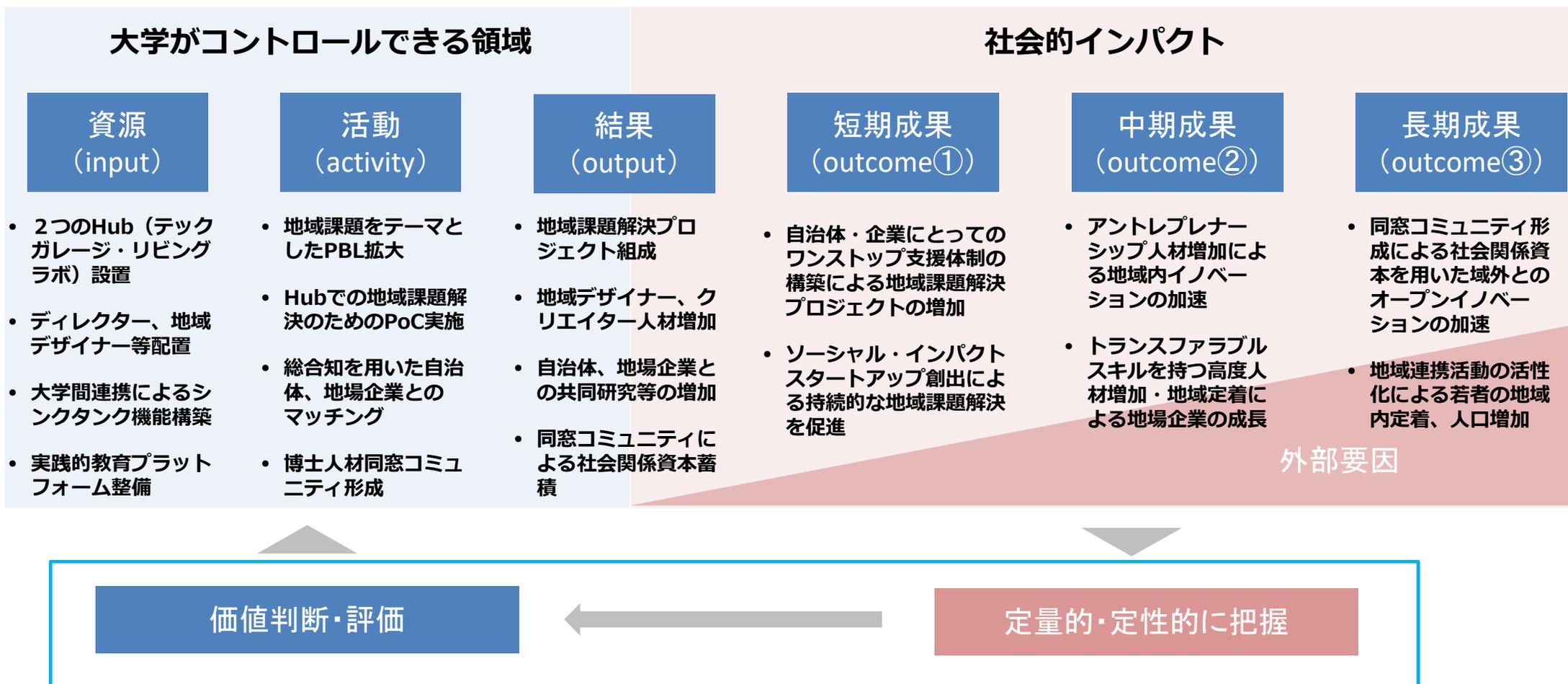
J-PEAKS採択大学である本学と地域に根差した岡山県立大と密接にタッグを組み、人材育成や成果の創出に取り組み、両事業の相乗効果で日本の科学技術の発展に貢献できる人材の輩出やイノベーション創出を実現します

# ロードマップ



# 岡山近辺の大学連携の強化、地域振興のハブ機能による具体的な地域振興効果

## (社会的インパクト評価とロジックモデル)



社会的インパクト評価

# 岡山大学DS（データサイエンス）部

創部4年目、部員数180人超（うち教職員約30名）  
学生が主体的に躍動する文理融合コミュニティ

岡山大学DS部とは？  
DS（データサイエンス）とアイデアで新たな価値の創出を目指す学生・教職員の団体。文理や学年の枠を超え、データサイエンスと大学での学びの成果で課題に挑む。初心者でもデータサイエンスを扱い、身の回りの課題をババッと解決する。そんな組織を目指している。現在、部員は約90人。  
[https://okadai-dsc\\_studio.site/](https://okadai-dsc_studio.site/)



「DS部は小さな会社」。学部を超えて新しい価値、イノベーションを岡山から！



データサイエンスと  
文理を超越した発想で  
DXを加速させる  
D.S.部

オンラインプラットフォーム (slack)

学部生

大学院生

研究者

大学職員

コーディネーター

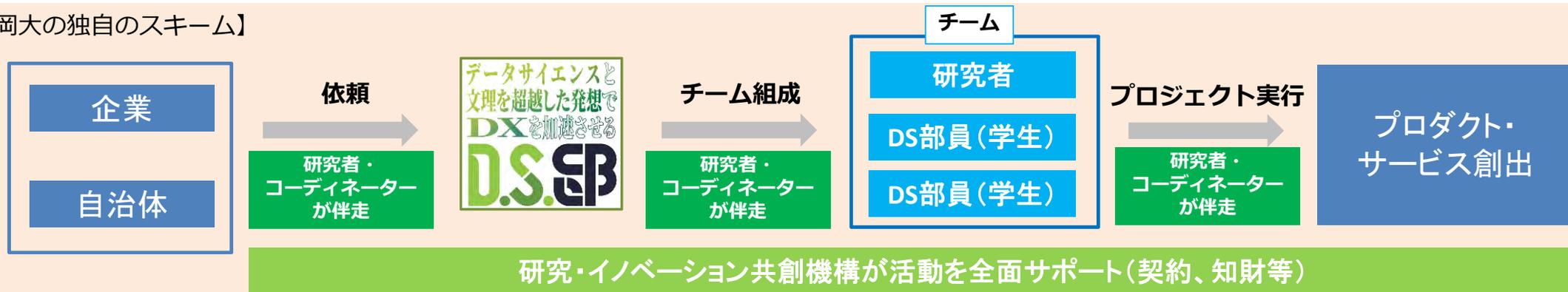
URA

学生起点の産学連携・  
地域連携プロジェクト創出

# 学生起点のプロジェクト推進の仕組みと実績

地場企業、自治体との連携による学生起点のプロジェクトを次々に創出  
 (岡山大学DS部の創部から累計約70件の産学連携・地域連携プロジェクトを実施)

【岡大の独自のスキーム】



(地場企業との共同開発)

## 製品検査工程の自動化

- 画像処理技術を用いた自動検査ソフトの開発
- 専門知識がなくても使いやすいGUIを作成



(自治体との共同開発)

## 観光レコメンドアプリの開発

- 岡山市、吉備中央町との連携によりレコメンド機能付き観光ルート案内アプリを開発



# 学生起点のプロジェクトによる外部資金の獲得

経済産業省「Web3.0・ブロックチェーンを活用したデジタル公共財等構築実証事業」  
に岡山大学DS部が構成員として採択

採択テーマ：Web3.0型地方創生・関係人口創出事業のためのガイドライン策定

実証自治体  
島根県海士町、広島県三原市  
(実証予算6,000万円)

(分散型自立組織DAOによるトークンエコノミクスの設計)



(岡山大学DS部・情報セキュリティ分野の研究者)

- DAOへの参加
- 開発フェーズにおけるスマートコントラクトのセキュリティ対策へのサポート
- ブロックチェーンに関するトップ人材の育成

※岡山大学DS部ではWeb3.0勉強会を4回実施。  
今年度中にWeb3.0ハッカソンを実施予定。

# 岡山県立大学の特色ある教育：副専攻「吉備の杜」創造戦略プロジェクト (学部生から大学院生までの一貫した社会連携教育)

## COC+R事業「吉備の杜」創造戦略プロジェクト

**副専攻とは？**  
主専攻の専門教育以外の分野の知識や考え方を学ぶことで、専門教育を補完するだけでなく、大学での修学意識をより高める制度

### COC+事業

**岡山創生学課程 [1～3年次]**

- ▶ 知る・見る・体験する
- ▶ 協働とコミュニケーション
- ▶ 課題発見と解決力の養成

長期インターンシップを通じた地域社会の体験

### ■ 事業の目的

地域が求める「雑草型人材」を養成する教育プログラムの構築・展開を通じ、若者の地元定着を図るとともに、リカレント教育として社会人にも提供し、企業等、地域の人材育成を進める。

**吉備の杜クリエイター課程 [3～4年次]** → **吉備の杜プロデューサー課程 [博士前期・修士課程]**

- 食と栄養と健康を温め羅ねる杜
- 地域のICT技術を温め羅ねる杜
- 森と建築と匠を温め羅ねる杜

▶ 現場で活かす専門性  
 ▶ 企業等の現場で社員と協働

▶ 本質を見極め自ら考え行動するための教養  
 ▶ 企業等における具体的な課題解決への取り組み

**PBL演習⇒・地域との協働により実施し、地域社会と交流を促進  
・若手企業人材等との交流による人材育成の相乗効果**

＼地域で活躍できる人材へ／

＼地域の未来を展望できる人材へ／

＼現場で即戦力となるリーダーへ／<sup>10</sup>

# 岡山県立大学の特色ある教育：副専攻「吉備の杜」創造戦略プロジェクト (メンバーシップの協働による事業体制)

## メンバーシップ（事業協働機関）の構成（25機関）について

- ◎大 学（順不同） … 3大学  
岡山県立大学、 中国学園大学、 ノートルダム清心女子大学
- ◎自治体（順不同） … 10自治体  
岡山県、赤磐市、井原市、笠岡市、瀬戸内市、総社市、玉野市、津山市、備前市、真庭市
- ◎企業・団体等（順不同） … 12機関  
RSK山陽放送、岡山県経済団体連絡協議会、岡山県建築士事務所協会、岡山県産業振興財団、岡山県食品新技術応用研究会、岡山県中小企業家同友会、岡山県立大学協力会、おかやまコープ、山陽新聞社、システムエンジニアリング岡山、中国銀行、トマト銀行



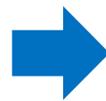
## プロジェクト（3年間）の実績・成果

- ★プログラムに参加した学生数 1,095 人
- ★リカレント教育を履修した社会人数 274 人
- ★PBL演習に協働した企業等の数 35 社



## 今後の課題と対策

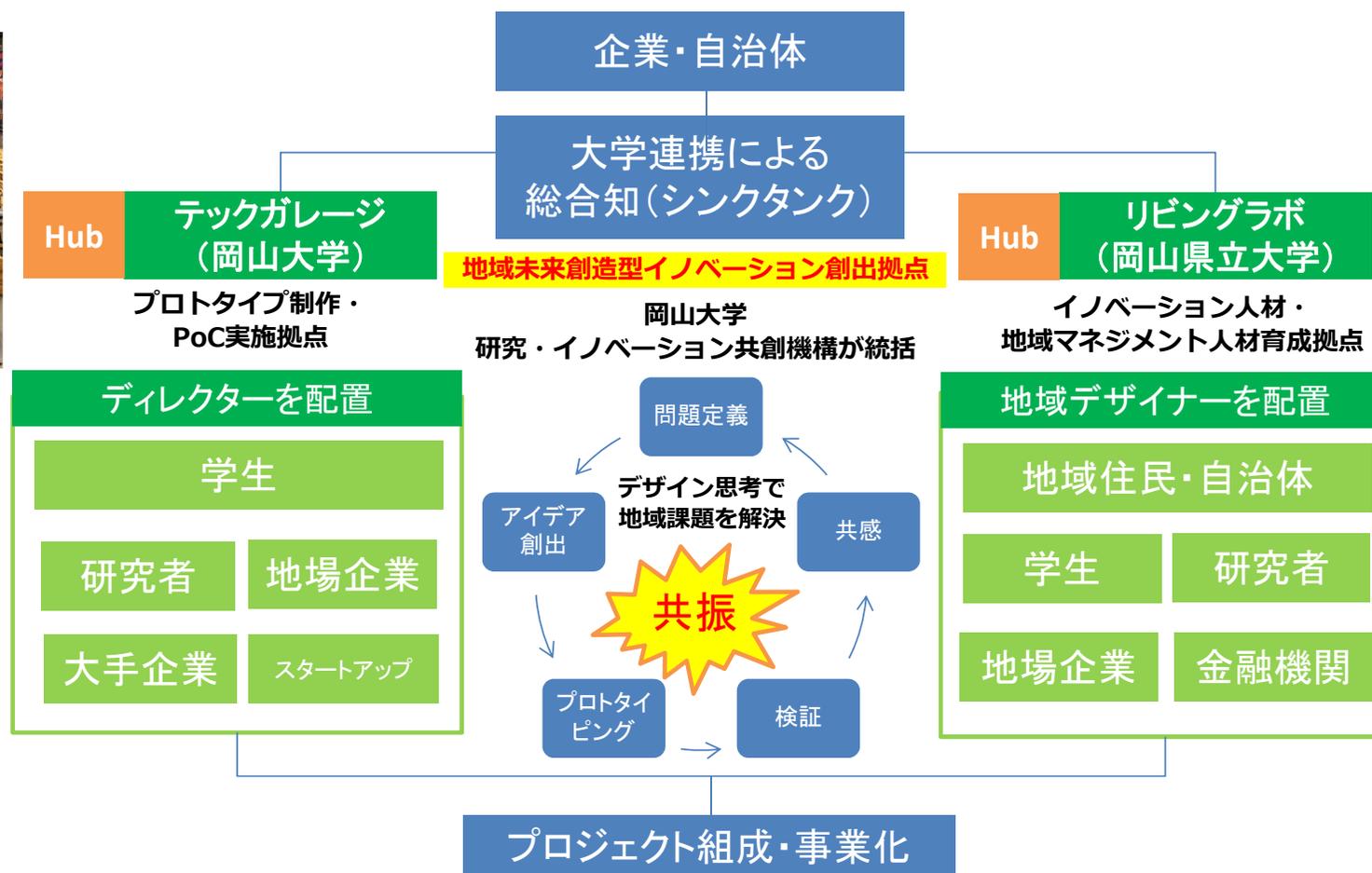
- ★履修生をフォローアップし、地方創生を担う人材として高度化
- ★プロジェクトの成果の地域への波及・成果の共有
- ★持続的な実施体制の確保



- ◎大学の拠点性の強化
- ◎地域の大学・自治体との連携の強化
- ◎地域と協働した安定財源の確保

# ハブの共振によるイノベーション人材の層の厚さを構築

岡山大学DS部のプロジェクト創出ノウハウと岡山県立大学の地方創生人材プログラムを融合させ、  
学生起点の地域課題解決・人材育成エコシステムの構築を目指す



# 国立大学×県立大学で岡山県立大学が目指すイノベーション人材の取組 「吉備の杜」プロジェクトの NEXT STAGE

地域中核大学イノベーション創出環境強化事業  
で県立大学が進める取組

プログラム履修者等の交流拠点を整備

企業や自治体等との合体教育体制を強化

地域に人材起点のイノベーションプラットフォームを構築

岡山大学との連携による「強み」の共有

地方創生を実現

地域に貢献できる  
人材の確保を推進

イノベーションを加速

大学を軸とした人材育成システム  
の高度化

フォローアップを通じた  
学生等に対する人材育成  
教育の改善と強化

学 生

社会人

リカレント教育を  
改善、社会人の人  
材育成モデルを構  
築

他大学と連携した「吉備  
の杜」プロジェクトの拡  
大

地 域

高大接続など、地域  
との連携強化

交流による教育効果  
の向上

社会人

学生教育を学外に展開

学 生

学生主体の人材育成教育

現行の「吉備の杜」プロジェクトの姿

- ★交流機会の拡大
- ★大学リソースの活用促進
- ★地域連携による人材育成